

競技規則 日本語:

サイクルポロ競技規制

室内自転車競技のひとつ、サイクルポロは2対2で対戦します。3人用のハードコートバイクポロと芝生で行う芝生ポロもあります。2人制のサイクルポロは、女子リーグ、男子リーグ、混合リーグがあります。2人制サイクルポロのチームは通常、ゴールキーパーとフィールドプレーヤー兼ディフェンダーで構成されます。成人クラスのゲームは7分×7分で行われます。防御するときはゴールにプレーヤーがいます。パートナーは攻撃側のチームがゴールに直接シュートするのを防ぎ、ボールを奪うことに集中します。攻撃するときは2人とも通常、相手ゴールの方向に攻め入り、ゴールに向かってシュートが打てるよう素早くパスすることによってディフェンダーを抜いていきます。ゴールキーパーとフィールドプレーヤーはゲーム中に何度も変更できます。ただし、選手はポジションに合わせて特別にトレーニングしているため、できるだけポジションを保持しようとしています。約11kgの競技用自転車にはシフトもブレーキもありませんが、制動に必要な非常に低いギア比(約1:1)の固定ギアがあります。これは通常の自転車のようなフリー機構がないことを意味し、ペダルは常に車輪と一緒に回転します。さらにカーブしたハンドルと、後方に取り付けられたサドルが特徴になっています。チューブラタイヤは約7~10バールが適正圧になっており、この競技専用のもを使用します。ボールは比較的小さく、重さは175~240g、直径は9.5~10cmで、布で覆われ、鹿の毛で満たされています。色付きのリボンで仕上げられており、安定した転がり面が作られています。ボールの移動にはポロスティックのみを使用できます。ボディまたは自転車によってボールを扱うことは許可されていません。ポロスティックの長さは約1mで、下部に木製のブロックがあり、ボールをガイドしてシュートできるようになっています。ゲームは高さ30cmのサイドボードで囲まれた11×14mのフィールドで行われます。ゴールは幅2m、高さ2mです。ゴールの周囲に半円形のペナルティーエリア(半径2m)が描かれ、各チームの1人のプレーヤーのみが入ることができます。ペナルティーエリアでは、両足がペダルに触れ、ペナルティーエリアのホイールのすべての接触面が地面に触れている限り、ディフェンディングプレーヤーは手でボールを防ぐことができます。ペナルティーエリアでの反則、たとえばゴールプレーヤーが足を着いた状態でボールに触った場合、4メートルのペナルティーキックで制裁されます。サッカーと同様に、コーナーキック、サイドアウト、ゴールキック、フリーキック、ペナルティーキックがあります。ゲーム中選手はボールにのみアクションをかけることができ、相手選手や相手の自転車、スティックを押したり、払いのけることはできません。反則があった場合はフリーキックにより罰せ

られます。選手が地面に足を着いたり、他の方法で地面に触れたりした場合（またはサイドボードやゴールに寄りかかった場合）、この選手は「打つ権利」を失い、ボールに触ったり、ゲームに介入したりすることができなくなります。プレーする権利を取り戻すには、ゴール横に延長された「ゴールライン」をまたぐ必要があります。ここで説明した2人制サイクルポロは室内自転車競技のひとつであり、現在ドイツでのみ競技されています。ドイツにもチームがありますが、芝生ポロも国際的にプレーされています。

競技規則全文:

https://static.rad-net.de/html/verwaltung/reglements/regl-2er-radpolo_2019-2020.pdf

